

政策提言書

平成30年10月30日

那須町議会

政策提言書

議会では、本年7月から第6回となります那須町議会報告会を開催し、町政や議会に対する多くの意見・要望等をいただいたところでもあります。

この町民からの多くの意見・要望等を真摯に受け止め、議員間討議を経て、このたび町長へ別紙のとおり政策提言を行うこととしたところでもあります。

地方分権が一層進む中、地方自治における二元代表制の一翼を担う議会として、町民の行政需要に的確に対応すべく、執行機関に対するチェック機能（監視牽制）に終始することなく、町民の声に応える政策提言を行うことは、町政の発展、町民の福祉向上にとって極めて重要であると認識しております。

つきましては、町長をはじめ執行部におかれましては、本提言が那須町議会の総意の下にまとめられたものであることを受け止められ、政策に反映されるよう強く要望いたします。

那議第175号
平成30年10月30日

那須町長 平山 幸宏 様

那須町議会議長 松中 キミエ

別紙

1. 緊急時の支援体制について

近年、異常気象により、想定を超える大規模な自然災害が激甚化、多発化している。災害から命を守るには、各地域による地区防災計画の策定や自主防災組織が必要である。自主避難困難者の名簿を作成し自治会関係者（避難支援関係者等）に情報提供すること。地域見守り活動を推進している先進事例（自治会）を参考に早急に支援体制を構築すること。

2. 農業経営の安定と後継者確保について

農業を次世代に継承するには、経営の安定化を図り後継者確保を行うことが必要である。そのために、関係団体との協力体制を強化し、規模拡大や高収益作物への転換など、農業経営の強靱化に向け営農指導を行い、モデルとなるケースを普及するなど農業の魅力度を高めること。また、那須町農業公社が取り組む新たな流通システムを速やかに推進し、観光業など他産業との連携を進めて地場製品の消費拡大と農業経営の安定に資する取り組みを進めること。

3. 鳥獣被害対策について

耕作放棄地の増加が有害鳥獣の増えるひとつの要因にもなっている。対策の有効手段として防護柵があるが、設置費用が高額なため設置まで踏み切れない。人の手を加えれば、人と獣の境界線が明確になる。これを個々の農家だけでなく、鳥獣管理士などの専門家の指導の元、集落で取り組む体制づくりも必要である。現行の防護柵設置費補助金の予算確保や補助手続きの簡素化を検討すること。

4. 保育体制の強化について

近年の共働き世帯の増加や核家族化により、多様化する保育ニーズを的確に把握し、仕事と育児の両立に考慮した安心して働ける環境づくりのため、ファミリー・サポート・センター事業の導入を検討すること。また、延長保育の拡充や病児保育・病後児保育の利便性の向上など、育児における保護者負担の軽減に向けた検討を進めるとともに、保育士の業務負担の増加に対応するため、保育士の追加配置など必要な措置を講じること。